

(別添)

2020年2月27日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター大阪本部

News Release

5年で157件、電子レンジで発生する事故 ～取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう～

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、電子レンジの事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2014年度から2018年度までの5年間に合計36件ありました。

(1) 年度別 府県別 事故発生状況

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※2}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2014年度		3 [1]	5 [3]				8 [4]
	2015年度			1 [0]	4 [3]			5 [3]
	2016年度	1 [1]		4 [4]				5 [5]
	2017年度	1 [0]		1 [0]		1 [1]	1 [1]	4 [2]
	2018年度	2 [0]	3 [1]	5 [3]	3 [2]	1 [0]		14 [6]
合計	事故件数	4	6	16	7	2	1	36
	火災件数	[1]	[2]	[10]	[5]	[1]	[1]	[20]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された製品事故。

(※2) 対象外情報を除いた事故発生件数。 [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷			2 (3) [2]				2 (3) [2]
	物的被害	拡大被害	1 [1]		4 [3]		1 [1]	6 (0) [5]
製品破損		3 [0]	4 [1]	10 [5]	7 [5]	2 [1]	26 (0) [12]	
被害なし			2 [1]				2 (0) [1]	
合計	事故件数	4	6	16	7	2	1	36
	被害者数	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(3)
	火災件数	[1]	[2]	[10]	[5]	[1]	[1]	[20]

(※3) 対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

2. 事件事例の概要

付着した食品かすの発火事故

2019年2月（大阪府、年齢・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

電子レンジを使用中、庫内から出火した。

【事故の原因】

庫内に食品かすなどの汚れが付着した状態で使用したため、食品かすが加熱され、炭化して焼損したものと考えられる。

食品の破裂による事故

2018年11月（奈良県、70歳代・女性、製品破損）

【事故の内容】

電子レンジで温めていたところ、庫内で調理物が破裂し、庫内のガラスプレートが割れた。

【事故の原因】

ゆで卵を加熱したため、ゆで卵が破裂した衝撃により、庫内のガラスプレートが破損したものと考えられる。なお、「ゆで卵の加熱をしない」旨、取扱説明書に記載されていた。

3. 電子レンジの事故の映像について

電子レンジの事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者：リスク評価広報課 向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617